

論

説

次の文章中の空欄□に入るのに最も適当なものを〇～4から一つ選べ。

「インターネットで情報やり取りする際、発信人が本人であることを確認するためにデジタル署名が利用できる。また、デジタル署名を用いると、その情報が□を確認できる」

- 0 複製されていないか
- 1 暗号化されているか
- 2 改ざんされていないか



宮武剛

SNSとメディア

3 どのような経路で届いたか

4 盗聴されていないか

1月の大学入学共通テストで新学習指導要項に即して初めて作成された「情報I」の最初の設問である。

正解は2で、筆者は勘で当てたが、その後は手も足も出なかった。何しろ「I

ちこぼれた。情報社会の変貌はさまざまに強盗事件も相次ぐ。

4 盗聴されていないか

1月の大学入学共通テストで新学習指導要項に即して初めて作成された「情報I」の最初の設問である。

正解は2で、筆者は勘で当てたが、その後は手も足も出なかった。何しろ「I

ソの求人広告で実行犯を募る。他人の文脈を把握し、歴史という時間軸や地域事情などの空間的な条件も前提になる」。ところが、SNSを主流とする情動社会では文脈は不要で「Xは140文字の後に何が続くか気にならない、インスタは『映える』だけ。断片でもいいし、印象がいい」(毎日新聞2024年11月21日夕刊要旨)。

発信者・投稿者の大半は匿名で、取材・事実確認・編集・校閲などの既存メディアの伝統的な作業は軽視される。情報内容は事実か、正確か、を調査・検証する「ファクトチェック」機関は日本では数団体

「Xは140文字の後に何が続くか気にならない、インスタは『映える』だけ。断片でもいいし、印象がいい」(毎日新聞2024年11月21日夕刊要旨)。

「ファクトチェック」機関は日本では数団体

「情動」と「情報」の攻防

佐藤教授は意外にも「情報の真偽も時間がたてばおのずから分かる場合が圧倒的に多い」からだ。もちろん既存メディアは待つのではなく、おびたしい「情動」の真偽を調査・検証・公表する使命がある。自ら

Pアドレス」「HTML」

「7セグメントLED」

「チェックフラット」など

など、用語自体が分からない。「情報」業界で生きてきたつもりだが、完全に落

レビュー」1人週刊誌にならな「偽情報」の恐れがつきま

「情報社会で求められるのはリテラシー(読み書きフォクトチェック機能になる

みやたけ・ごう 毎日新聞論説副委員長から埼玉県立大、目白大大学院の教授などを経て現職

「情報社会で求められるのはリテラシー(読み書きフォクトチェック機能になる